

高大接続の将来像

— 高大タッグで挑む、これからの人材育成 —

2019.3.26(火)

13:00-17:45

Program

総合
司会

和嶋 雄一郎 大阪大学高等教育・入試研究開発センター 准教授

開会の挨拶 神宮 孝治 大阪大学 教育・学生支援部 部長

来賓挨拶 玉上 晃 文部科学省審議官(高等教育局及び高大接続担当)

一橋大学一橋講堂 中会議場
東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター内

定員: 150名(先着順)

参加無料

ウェブサイトよりお申し込みください。

<https://chega.osaka-u.ac.jp/>

参加登録締切

3月20日(水)



第1部 高大接続の整理・問題提起 13:20-14:05

基調講演 高大接続の将来像

— 2030年高校と大学はどうなっているのか —

溝上 慎一 桐蔭学園 理事長代理・トランジションセンター所長・教授

第2部 高大連携型の取り組み事例 14:15-16:25

高校において大学の学びを先取りする意味

事例紹介1-1 AP/AP Capstoneとアメリカの高大接続(仮)

英日同時通訳 AI Mijares (Ph.D.) Orange County Superintendent of Schools, former Vice President of the College Board

事例紹介1-2 高校におけるAP Capstoneの事例

英日同時通訳 Laura Harmon 北海道インターナショナルスクール 高等部 教諭

大学が高校生を指導する意味

事例紹介2-1 GSCプログラムと高大接続

日紫喜 豊 科学技術振興機構(JST) 理数学習推進部 調査役(能力伸長担当)

事例紹介2-2 大阪大学SEEDSプログラムの紹介

杉山 清寛 大阪大学全学教育推進機構 教授

高校で行ってきたアカデミックスキル教育

事例紹介3 高校で行ってきたアカデミックスキル教育

～地方国立大学附属学校からの提言～

彦田 順也 愛媛大学附属高等学校 副校長

第3部 パネルディスカッション・質疑応答 16:35-17:35

パネリスト 講演者全員

モデレーター 山下 仁司 大阪大学高等教育・入試研究開発センター 教授

閉会の挨拶 川嶋 太津夫 大阪大学高等教育・入試研究開発センター長・教授

高大接続の将来像

— 高大タッグで挑む、これからの人材育成 —

2019.3.26(火) 13:00-17:45

一橋大学一橋講堂 中会議場

東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター内

趣旨

シンポジウム「高大接続の将来像」の開催について

グローバル化のさらなる進展や「Society5.0」と呼ばれる情報集約型社会の到来が今後予想されていることから、そのような未来社会を志向した人材育成に向けて、各国が教育改革に取り組んでいます。

我が国でも、未来に向けての高度な人材育成が重要であるとの認識のもと、大学への進学者が50%を超える前後から、高校教育と大学教育の接続の在り方が大きく問われはじめ、補完教育や初年次教育の導入も進みました。さらに、ここ数年来、高大接続改革の動きが加速していますが、ややもすると、人々の関心や関係諸機関の取組も入学者選抜の改革に向きがちで、高校と大学の教育と学習の接続の在り方については、必ずしも議論や取組が深まっているとは言えません。しかし、たとえば、我が国ではグローバル・サイエンス・

キャンパス、また、米国ではアドバンスト・プレースメント・プログラムなどを通じて、高校と大学の教育・学習を円滑に接続する取組を実施しています。

今回のシンポジウムでは、「次世代人材の育成」を念頭に置いた高大接続(改革)の次の段階として、高校と大学のより良い関係づくりのために我々は何をするべきかを考えます。それと同時に、これまで高校・大学教育改革で叫ばれてきたこと(グローバル化、アクティブラーニング、探究学習など)の意味を「人材育成の観点から整理」することで、次世代人材育成の観点からの「学びの在り方」を探り、それを高校・大学のそれぞれの立場でなができるか探ることで、参加者とともに、我が国の新しい高大接続の形を考えます。

講演者紹介

溝上 慎一 | 桐蔭学園理事長代理・トランジションセンター所長・教授

第1部 基調講演

「高大接続の将来像 —2030年高校と大学はどうなっているのか?—」

大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、京都大学助手、講師、准教授、教授を経て、2018年9月より現在に至る。京都大学博士(教育学)。日本青年心理学会常任理事、大学教育学会理事、「Journal of Adolescence」Editorial Board委員、学校法人河合塾教育イノベーション本部研究顧問、中央教育審議会臨時委員。日本青年心理学会学賞受賞。著書に『アクティブラーニング型授業の基本形と生徒の身体性』(2018 東信堂、単著)、『高大接続の本質—学校と社会をつなぐ調査—』(2018 学事出版、編著)など多数。

Al Mijares (Ph.D.) | Orange County Superintendent of Schools, former Vice President of the College Board

第2部 事例紹介 1-1

「AP/AP Capstoneとアメリカの高大接続(仮)」

Dr. Mijares was appointed Orange County Superintendent of Schools in August 2012, and prior to that time he served for six years as the Vice President of the College Board where he worked to expand the high school-to-university pipeline, in order to assure the college readiness and success for students, especially the underrepresented. He joined the College Board after serving as Superintendent of the Santa Ana (CA) Unified School District for more than 11 years. Under his guidance, the district received national recognition for successfully meeting the needs of its diverse student body. He was praised for his innovative curricular reform and for improving reading and math skills.

Laura Harmon | 北海道インターナショナルスクール 高等部 教諭

第2部 事例紹介 1-2

「高校におけるAP Capstoneの事例」

Ms. Harmon originally hails from Texas, but called Chicago her home for about 10 years with some detours in between. She holds a BA in Sociology from the University of Chicago and MS in Education from Northwestern University. She became interested in education while working as a tutor and mentor in Chicago neighborhood schools and becoming involved in summer programs for gifted students. After teaching English in France for a year, she taught History and Theory of Knowledge at an IB school in Chicago for 3 years before heading abroad again to explore New Zealand.

日紫喜 豊 | 科学技術振興機構 (JST) 理数学習推進部 調査役 (能力伸長担当)

第2部 事例紹介 2-1

「GSCプログラムと高大接続」

一橋大学法学部卒業。民間企業を経て1989年JST(旧JRDC)入社。総務部、基礎研究推進部、地域事業推進室、研究開発戦略センター等を経て現職。

杉山 清寛 | 大阪大学全学教育推進機構 教授

第2部 事例紹介 2-2

「大阪大学SEEDSプログラムの紹介」

東京理科大学理工学部物理学科を卒業後、大阪大学大学院理学研究科物理学専攻前期課程に入学し、同大学同研究科同専攻博士後期課程を単位取得退学。その後、博士(理学)を取得。大阪大学理学部物理学科助手、大阪大学大学院理学研究科物理学専攻准教授、大阪大学理学研究科附属先端強磁場科学研究センター准教授を経て、2015年より現職。専門は物性物理学。特に強磁場下での強い相関を持つ電子系の振る舞いを実験的に研究。理学研究科時代から高大連携物理教育セミナーの世話人を担当してきた。現職では高大接続プログラムの一つである大阪大学SEEDSプログラムのコーディネーターとしてプログラムの運営に係り、2017年度大阪大学賞を受賞。

彦田 順也 | 愛媛大学附属高等学校・副校長

第3部 事例紹介 3

「高校で行ってきたアカデミックスキル教育 ~地方国立大学附属学校からの提言~」

1984年愛媛大学理学部数学科卒業。1984年愛媛大学農学部附属農業高等学校教諭。2008年愛媛大学附属高等学校に改組。2010年より現職。著書：教師自身の「生きる力」を育む「総合的な学習の時間」など。

参加申込方法

ウェブサイトよりお申し込みください。

大阪大学高等教育・入試研究開発センター

<https://chega.osaka-u.ac.jp/>



- 参加登録締切: 3月20日(水)
- 定員: 150名(先着順) ● 参加無料 ● 日英同時通訳付
- 主催: 大阪大学高等教育・入試研究開発センター

会場へのアクセス

一橋大学一橋講堂 中会議場

東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター内

- 東京メトロ半蔵門線・都営三田線・都営新宿線「神保町」駅(A8・A9出口)より徒歩4分
- 東京メトロ東西線「竹橋駅」(1b出口)より徒歩4分

